

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】令和5年6月20日(2023.6.20)

【国際公開番号】WO2023/286243

【出願番号】特願2022-506713(P2022-506713)

【国際特許分類】

D 2 1 H 27/00(2006.01)

D 2 1 H 27/30(2006.01)

B 3 2 B 29/00(2006.01)

B 3 2 B 27/10(2006.01)

10

【F I】

D 2 1 H 27/00 A

D 2 1 H 27/30 C

B 3 2 B 29/00

B 3 2 B 27/10

【手続補正書】

【提出日】令和4年2月1日(2022.2.1)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被賦形体から離型することで当該被賦形体を賦形する離型紙であって、
段ボールから成る古紙を主成分とする古紙ベース層と、
 前記古紙ベース層の少なくとも一方の面に形成され、前記被賦形体を賦形する樹脂製の
 賦形層と、

30

を備え、

前記古紙ベース層における古紙の配合率は、75～100%である
 ことを特徴とする離型紙。

【請求項2】

前記古紙ベース層における古紙の配合率は、100%である
 ことを特徴とする請求項1に記載の離型紙。

【請求項3】

被賦形体から離型することで当該被賦形体を賦形する離型紙であって、
段ボールから成る主成分である古紙と、残部であるバージンパルプと、を含む古紙ベ-
 ース層と、

40

前記古紙ベース層の少なくとも一方の面に形成され、前記被賦形体を賦形する樹脂製の
 賦形層と、

を備え、

前記古紙ベース層は多層構造であり、
前記バージンパルプは、前記古紙ベース層の前記一方の面側に抄紙されている
 ことを特徴とする離型紙。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0006】

前記課題を解決するための手段として、本発明は、被賦形体から離型することで当該被賦形体を賦形する離型紙であって、段ボールから成る古紙を主成分とする古紙ベース層と、前記古紙ベース層の少なくとも一方の面に形成され、前記被賦形体を賦形する樹脂製の賦形層と、を備え、前記古紙ベース層における古紙の配合率は、75～100%であることを特徴とする離型紙である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このような構成によれば、古紙の配合率が75～100%であるので、より二酸化炭素の排出量を50～33%、つまり、1/2～1/3に抑制できる。また、古紙の配合率が75～100%であるので、バージンパルプを100%とする離型紙に対して、森林の伐採量を25～0%、つまり1/4以下に抑えることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、前記古紙ベース層における古紙の配合率は、100%である構成としてもよい。
前記課題を解決するための手段として、本発明は、被賦形体から離型することで当該被賦形体を賦形する離型紙であって、段ボールから成る主成分である古紙と、残部であるバージンパルプと、を含む古紙ベース層と、前記古紙ベース層の少なくとも一方の面に形成され、前記被賦形体を賦形する樹脂製の賦形層と、を備え、前記古紙ベース層は多層構造であり、前記バージンパルプは、前記古紙ベース層の前記一方の面側に抄紙されていることを特徴とする離型紙である。

30

40

50